

## 膵臓癌に対して化学療法による治療を行った患者さんへ

当施設では、膵臓癌に対して化学療法による治療を行った患者さんの診療データ（後述）を用い、これから治療をする患者さんの治療方針を判断する一助として「その患者さんに化学療法を行うことでどれぐらいの治療効果が望めるか」を推定するAIの開発研究を多機関共同研究として行います。データはすべて匿名化され、いわゆる個人情報や個人を特定できるデータが使われることはありません。また、この研究が行われることで、現在治療している患者さんの治療方針が変更されることはありません。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の[問い合わせ先：窓口]へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

[研究課題名] 局所進行膵癌に対する化学療法施行における治療効果予測AI開発

[実施期間] 許可日～2026年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構、獨協医科大学 埼玉医療センター、千葉県がんセンター、千葉大学病院

[研究代表者] 立花 泰彦（量子科学技術研究開発機構）

[研究責任者] 吉富 秀幸（獨協医科大学 埼玉医療センター）

須藤 研太郎（千葉県がんセンター）

大山 宏（千葉大学病院）

[研究の目的] 局所進行膵癌に対する化学療法実施前・実施中に得られる画像情報および検査情報などの臨床情報から、一定期間後の局所腫瘍縮小効果や遠隔転移出現の有無などを予測することができるAIを開発することです。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々：西暦2000年以降、各研究機関で局所進行膵癌に対して化学療法による治療を受けた方

●利用する情報及び収集方法

電子カルテなどに保存されている、年齢や性別などの基本的データ、検査データ、CTやMRI等の画像データなどを収集します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報は、お名前、住所など患者さんを直接同定できる個人情報を削除し、匿名化した状態で臨床データの解析を行います。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2022年6月30日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。この期間を過ぎた場合であっても可能な限りデータを解

析から取り除きますが、既に解析に用いられ個人を識別できない状態の情報は取り除けない場合があります。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口（平日9:00～17:00）]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST未来ラボ・量子医療AI研究グループ 立花 泰彦

電話：043-206-3230



埼玉県越谷市南越谷2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 外科(肝胆脾) 吉富 秀幸

電話：048-965-1111(代)

千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院 消化器内科 大山 宏

電話：043-222-7171

千葉市中央区仁戸名町666-2

千葉県がんセンター 消化器内科 須藤 研太郎

電話：043-264-5431 (代)